

西成区区政会議第 2 回教育部会

西成区の教育環境について

- ・ 読書活動について
- ・ キャリア教育について
- ・ 不登校児童生徒の支援について

教育環境について（議論テーマ）

- ・ **読書活動について**

生きる力を身につけていくためには、読書は有効なものであるが、読書離れが進んでいる。西成区では「こどもの読書活動推進支援事業」を実施しているが、目標冊数を達成している児童生徒は全児童生徒数の約10%となっている。

- ・ **キャリア教育について**

子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められており、キャリア教育の重要性が増しており、西成区においても地元とのつながりも活かしてキャリア教育に取り組んでいる。

- ・ **不登校について**

全国的に不登校の児童生徒の数が増えているのと同様に、大阪市、西成区でも不登校の児童生徒は年々増加しているが、特にコロナの影響も受けて不登校者数が増加している。

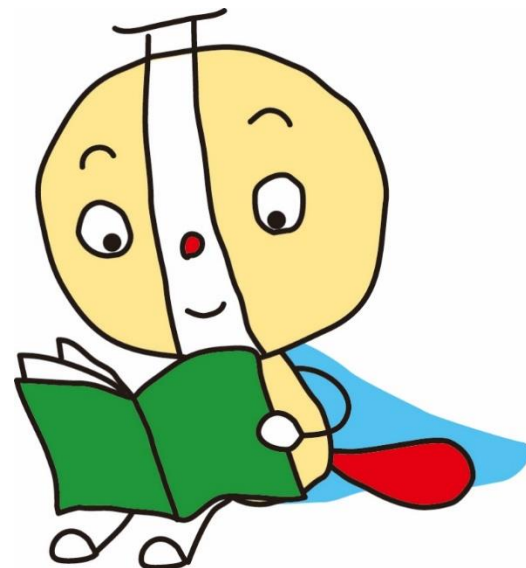
取組みについて

読書活動について

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

テレビ、スマホ、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や、子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。

西成区では、読書を行うきっかけづくりのための取組を行っています。



西成区こどもの読書活動推進支援事業

校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）

5 予算額

5 0 千円

事業概要

読書を行うきっかけづくりとして、目標を達成した児童生徒に賞状を贈呈する。

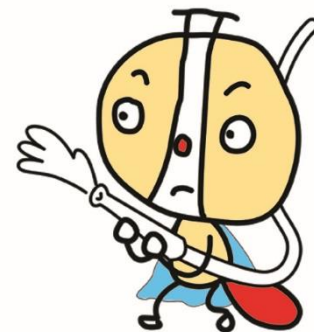
年間目標 小学校 1 年・2 年・・・100冊 小学校 3 年・4 年・・・70冊
小学校 5 年・6 年・・・50冊 中学校 1 年～3 年・・・50冊

- ・対象となる図書：**学校図書館、西成図書館、自動車文庫の本**
- ・読了後、当区から配付している**読書カード**等に本のタイトルなどを記入する。
- ・①年間目標を達成した児童生徒、②学校長からの推薦のあった児童生徒（読書冊数に関わらず読書の取組み内容の評価が高かった児童生徒）に**賞状を贈呈**
- ・**最多読書賞**の児童生徒に**表彰状・記念品（額縁）**を贈呈
※小学校1・2年生の部、小学校3・4年生の部、小学校5・6年生の部、中学生の部で各1名ずつ計4名
- ・**ふりかえりシート（感想文）**を提出した児童生徒に**参加賞（クリアファイル）**を贈呈
- ・学校で**区長からの直接表彰**（希望する学校）

キャリア教育について

【キャリア教育とは】

一人一人の社会的・職業的自立に向け、
必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、
キャリア発達（※）を促す教育です。



※社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程のこと

（平成23年1月31日中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」
より抜粋）

西成区では、
働くことの大切さや面白さを感じてもらい、
地元に誇りと愛着を持っていただくための
取組を進めています。



キャリア教育推進支援事業

校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）

5 予算額

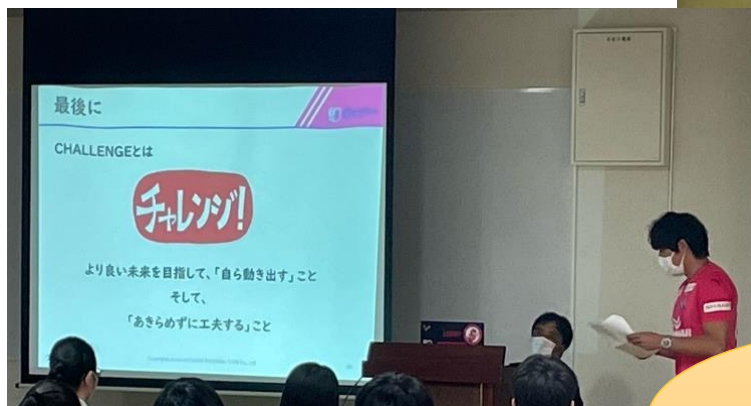
2 1 4 千円

事業概要

大阪市と包括連携協定を締結している**スポーツチーム**などから**ゲストティーチャー**を招き、**交流や講義**を通して、児童生徒が具体的な進路や将来の職業について考える機会を提供する。

令和5年度は3中学校で実施。
(天下茶屋中学校・梅南中学校・鶴見橋中学校)

↓ (オリックス・バファローズ)



↑ (セレッソ大阪)



令和4年度
事業実施の様子

大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業事業

区まちづくり推進費

5 予算額

1, 4 0 0 千円

事業概要

区内小中学校の児童・生徒に**プロの演奏を鑑賞**してもらい、大阪フィルハーモニー交響楽団を身近に感じてもらうことで、子どもたちの心に深く芸術文化に触れた記憶を残し、**地域への愛着や誇りをはぐくみ**、魅力ある地域へと変革させる人材育成につなげるとともに、将来の目標を見出していける**人材育成**をはかることを目的として実施。

区内小中学校（今年度は8校）で実施。



にしなりしごと博物館

大阪府中小企業家同友会西成住之江支部
南東ブロックと協働実施事業

事業概要

西成区や近隣のこどもたちに、地元の企業の仕事内容を理解してもらうことで、**働くことの大切さや面白さ**を感じてもらい、地元に誇りと愛着を持っていただくことを目的として区内の企業に出展していただき、仕事見学・体験を行う。

にしなりしごと博物館が
やって来る!

参加者 大ぼしゅう

2022年
11月6日(日) **無料**

時間: 午前10時～午後4時
場所: 西成区民センター

地元のこどもと西成のスゴ技企業

「西成しごと博物館」の参加条件は

- 1 西成区や近隣のこどもたち
- 2 出展企業のワークショップに参加できる人
・定員制・時間制で実施します。
・受付で、希望のブースの整理券を入手してください。
⇒整理券の配布
午前の部: 9時30分 / 午後の部: 12時30分

- 西成区には機械や製品、おいしいもんを作ったりしているスゴ技を持っている会社がたくさんあります。
- 「西成しごと博物館」では、そんな会社21社が19ブースで出展します。
- 会社のプログラムを見て、参加したい会社を決めてください。スゴ技を体験したり、自分で作ったりすることを楽しんでね。もちろん、見に来るだけでもOKですよ!

不登校について

【不登校とは】（文部科学省の定義）

何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの

【支援の視点】

不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要があること。また、児童生徒によっては、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意すること。

（「不登校児童生徒への支援の在り方について」令和元年10月25日付け文部科学省通知より）

西成区こども生活・まなびサポート事業

事業概要

重点施策推進経費

5 予算額

82,485 千円

区内全小・中学校に、家庭生活面等で様々な課題を抱える児童生徒に対して、「電話や家庭訪問による登校支援」「学習姿勢定着に向けた支援」等個々に応じた寄り添い型の支援を行い、学びの場への定着を図ることを目的とし、**サポーター等を配置する。**

(1) 登校支援・見守りサポーター（区内全小中学校16校に1名ずつ配置）

- ・不登校・遅刻の児童生徒の対応（家庭訪問・電話など）や、別室登校をしている児童生徒の見守り支援などを行う。



令和5年度からモデル実施

(2) 学習姿勢向上サポーター（区内2小学校に1名ずつ配置）・ボランティア

幼稚園・保育園

- ・個人、友達、小集団
- ・「遊び」を通じた総合的な指導



小学校

- ・学級・学年（集団指導）
- ・教科教育

（教科等の目標・内容に沿って選択された教材によって教育が展開）



小学校進学時にとまどう児童や、
適応が難しい児童

⇒ 小1プロブレム

席について話を聞けない

教室に入っても席につけない
座っても話を聞かないなど
学習姿勢が身についていない



本人を落ち着かせ、きまりを守るなど、
学習姿勢を定着させるための
個人に寄り添ったサポート
（登校後の支援）



個別に寄り添う丁寧なサポートを行うことにより、
学習姿勢を定着させ、学習習慣の定着、不登校の未然防止につなげる

意見交換について

読書活動について

令和4年度こどもの読書活動推進支援事業達成者数

学年 (在籍者数)	冊数での 目標達成	学校長から の推薦	学年 (在籍者数)	冊数での 目標達成	学校長から の推薦
小1 (415人)	53人	15人	中1 (469人)	1人	0人
小2 (420人)	39人	16人	中2 (511人)	13人	0人
小3 (435人)	71人	24人	中3 (459人)	2人	0人
小4 (450人)	74人	11人	合計 (1,439人)	16人	0人
小5 (460人)	55人	10人	・目標読了冊数を達成している児童生徒等は全児童生徒数の<u>約10%</u>となっている。 ・特に中学生の目標達成者数は数名程度であり読書活動への関心が低いことが分かる。		
小6 (483人)	63人	4人			
合計 (2,663人)	355人	80人			

読書の頻度についての調査 (令和4年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査より)

「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書しますか」の設問で「全くしない」と答えた児童数の割合：大阪市32.5%、全国26.3%。生徒数の割合：大阪市51.1%、全国39.0%

意見交換

読書活動に積極的に取組んでもらうためのアイデアについて。

- (例)
- ・年間目標の基準が高いため、冊数を変更する。
 - ・電子書籍など対象の図書を拡大する。
 - ・記念品や表彰の方法を変更する。
 - ・読書カードの内容を工夫する。

キャリア教育について

子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められており、キャリア教育の重要性が増している。

【参考】キャリア教育で育まれる能力

文部科学省（キャリア教育の推進より抜粋）

人間関係形成・
社会形成能力



他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップなど

自己理解・
自己管理能力



自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動など

課題対応能力



情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善等など

キャリア
プランニング能力



学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善など

意見交換

・西成区でも学校に対して取組みを進めているが、他にどのような取組みが考えられるか、どのような取組みが子どもが興味を持つかについて。

- （例）
- ・ 職場体験（地域の事業所などで実際に体験する）
 - ・ 取材やフィールドワーク（働く人にインタビューし、職業への理解を深める）
 - ・ 外部講師を招いた講演（その職業のプロからの講話により仕事について学ぶ）

不登校について

不登校の要因（小中学校において主たる要因としてあげられているもの、全国）

要因	人数	不登校児童生徒に占める割合
無気力・不安	121,796人	49.7%
生活リズムの乱れ、あそび、非行	28,749人	11.7%
いじめを除く友人関係をめぐる問題	23,741人	9.7%
親子の関わり方	19,712人	8.0%
学業の不振	12,759人	5.2%

文部科学省（令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より抜粋）

意見交換

・不登校の要因が個人によって様々であり、教育支援センター、不登校特例校、フリースクール、各種相談窓口など、多様なつながり先が求められている。

・現在、地域等においてつながっている不登校の（不登校傾向のある）児童生徒は、つながり先でこういった活動をしているのか

・また、様々なつながり先があるなかで、こういった経緯でつながったか、について、伺いたい。